

# 障害のある人が身近な地域で安心して暮らせる環境を整備します

予算額 561,627千円

福祉局福祉部障害福祉課  
地域生活支援グループ  
内線 3498・3526  
(ダイヤル)052-954-6292

## 1 障害者施設設置費補助金

400,904千円

障害のある人が身近な地域で暮らすことができるよう共同生活援助事業所（グループホーム）や障害児者施設の整備費に対して助成します。

## 2 障害者相談支援体制整備事業費

28,713千円

地域における障害者の相談支援体制構築に向けた広域支援・助言を行うため、市町村や自立支援協議会等にアドバイザーを派遣します。

## 3 障害者施設介護テクノロジー導入支援事業費補助金

111,750千円

障害福祉現場の職員の業務負担軽減や職場環境の改善及び障害福祉サービスの質の向上を図るため、介護ロボットやICT機器の導入に要する経費を助成します。

## 4 障害者地域移行推進事業費

20,260千円

### ○ 共同生活援助事業所の世話人の確保

共同生活援助事業所（グループホーム）の世話人確保のため、世話人の仕事紹介や仕事体験を実施します。

### ○ 地域生活を体験する機会の提供

施設入所者等が地域生活を具体的にイメージできるよう、地域の共同生活援助事業所（グループホーム）等を活用した体験事業や出前講座を実施します。

### ○ 障害者の新たな仕事の創出

障害者の工賃等の向上や雇用促進のため、企業と就労継続支援事業所等のマッチングや企業と芸術的な才能のある障害者のマッチングを行います。



〔障害福祉サービス事業所で生産された商品（例）〕

# 障害のある人の社会参加と障害への理解促進を図ります

予算額 99,258千円

福祉局福祉部障害福祉課  
業務・調整グループ  
内線 3230・3240  
(ダイヤル)052-954-6294

## 1 障害者コミュニケーション手段利用促進費

35,374千円

### ◆意思疎通支援者の養成・派遣

障害のある人が社会の構成員として地域の中で安心して生活を送ることができるよう、意思疎通支援者の養成や派遣を行います。

- ・手話通訳者や要約筆記者等の意思疎通支援者の養成・派遣
- ・頸肩腕障害予防のための健康診断や健康管理講座の実施

### ◆障害の特性に応じたコミュニケーション手段に関する普及啓発

障害に対する理解や配慮について普及啓発を図るため、障害の特性に応じたコミュニケーション手段に関するセミナーを開催するとともに、カラーユニバーサルデザインに関する出前講座を実施します。

## 2 パーキング・パーミット制度推進事業費

46,530千円

### ◆障害者専用専用駐車区画の適正利用の推進

障害者専用専用駐車区画の対象者の明確化と不適切な駐車抑制をする、パーキング・パーミット制度を2026年6月から導入します。

対象者：障害者、要介護者、難病患者、妊産婦、けが人等

- ・利用証の交付
- ・問合せ対応
- ・障害者専用専用駐車区画の届出受付等

## 3 障害者芸術文化活動推進事業費

17,354千円

### ◆あいちアール・ブリュットの推進

「あいちアール・ブリュット障害者アーツ展」を通して、障害のある人の社会参加と障害への理解促進を図ります。

- ・作品展や舞台・ステージ発表の開催
- ・芸術系大学の教員等が障害者支援施設・事業所を訪問し、造形活動を実施する出前講座を実施
- ・三河地域におけるサテライト展の開催
- ・県内3芸術大学との協定に基づく連携事業の実施
- ・アジア・アジアパラ競技大会と連携した作品展示の実施



ロゴマーク

### ◆障害者の芸術活動を支援する人材の育成

障害者芸術文化活動の普及を図るため、相談支援や人材育成、情報発信等により、障害のある人の芸術文化活動に携わる施設職員等を支援・育成します。



桑原 怜志「一喝」



# 強度行動障害の状態にある人とその家族が安心して暮らせるよう、地域の支援力を強化します

福祉局福祉部障害福祉課  
療育支援グループ  
内線 3238・3243  
(ダイヤル)052-954-6293

予算額 26,060千円

強度行動障害の状態にある人とその家族を支えるため、実態調査、人材育成、受入れ事業所の支援環境整備等の施策を推進し、市町村を核とした地域の支援体制を整備します。

## 1 強度行動障害施策推進事業費 14,060千円

適切な支援を実施できる支援者と事業所の育成・拡大や、関係機関が連携した相談支援体制の整備を図ります。

- ・ 障害福祉サービス事業所を対象にした実態調査
- ・ 専門知識のある人材による事業所の伴走型訪問支援
- ・ 市町村・事業所職員向け研修の実施 など

## 2 受入環境整備費補助金（新規） 12,000千円

事業所が強度行動障害の状態にある人の受入れに必要な環境整備を行う経費の一部を補助します。

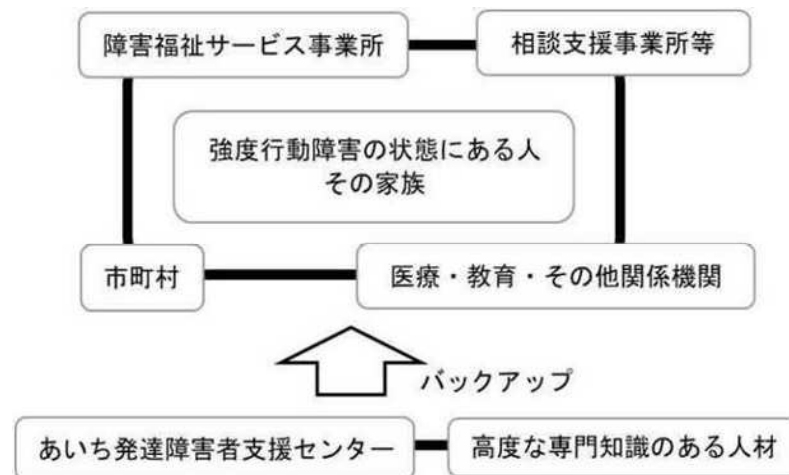
<対象経費>

適切な支援を実施するために必要な改修工事及び設備備品等

<補助率>

3/4、上限額60万円

<相談支援体制のイメージ>



強度行動障害とは：自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態。

# 「愛知・つながりプラン2028」に基づき、 特別支援教育を充実します

予算額 10,511,237千円  
(外に債務負担行為 2,083,063千円)

とりまとめ  
教育委員会特別支援教育課  
指導グループ 内線3932・3933  
(ダイヤル)052-954-6798

2024年2月に策定した「第3期愛知県特別支援教育推進計画（愛知・つながりプラン2028）」に基づき、特別支援学校の整備を進めるとともに、児童生徒に対する支援体制を強化します。

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>1 天白あいおい特別支援学校建設費 4,834,001千円</b><br/>港特別支援学校の長時間通学を解消するため、肢体不自由特別支援学校新設に向けて、引き続き建設工事等を行います。<br/>○ 場 所：天白区菅田地内(天白学校体育センター敷地内)<br/>○ 開校予定：2027年4月</p> <p><b>2 豊田ひまわり特別支援学校建設費 4,335,706千円</b><br/>(外に債務負担行為 2,083,063千円)<br/>三好特別支援学校の教室不足を解消するため、知的障害特別支援学校新設に向けて、引き続き建設工事等を行います。<br/>○ 場 所：豊田市亀首町地内<br/>○ 開校予定：2027年4月</p> <p><b>3 小牧特別支援学校整備費 168,034千円</b><br/>一宮東特別支援学校の教室不足を解消するため、小牧特別支援学校に知的障害教育部門を2026年4月に開設し、本県2校目の知・肢併置校とします。<br/>○ 校舎増築に伴う外構工事</p> <p><b>4 名古屋市立天白特別支援学校施設整備費補助金(新規) 350,933千円</b><br/>名古屋市が行う市立特別支援学校(知的障害)の施設整備事業を支援します。</p> | <p><b>5 スクールバスの増車 88,455千円</b><br/>バスを利用する幼児児童生徒の長時間通学の緩和と乗車待機者解消のため、特別支援学校のバスを5台増車します。</p> <p><b>6 手話通訳士設置事業費(新規) 7,077千円</b><br/>○ 聾学校への配置 2人</p> <p><b>7 就労支援推進事業費 15,449千円</b><br/>○ 就労アドバイザーの配置 5人</p> <p><b>8 心豊かな児童生徒育成推進事業費 14,530千円</b><br/>○ スクールカウンセラーの配置 5人<br/>○ スクールソーシャルワーカーの配置 2人</p> <p><b>9 医療的ケア実施体制の充実 697,052千円</b><br/>○ 看護師の配置<br/>医療的ケアが必要となる児童生徒に適切なケアを行うため、県立学校の看護師を増員します。<br/>・ 常勤看護師の配置 17人<br/>・ 非常勤看護師の配置 120人 → 133人<br/>○ 通学支援等の実施<br/>保護者負担軽減のため、医療的ケアを実施する児童生徒が在籍する全ての特別支援学校で、通学や校外学習の際に看護師が付添い、医療的ケアを実施する取組を進めます。</p> |
|---|--|

# 中小企業の人材確保を支援します

予算額 265,294千円

とりまとめ  
労働局就業促進課  
業務・調整グループ  
内線 3431・3432  
(ダイヤル)052-954-6363

中小企業等の人手不足対策として、若者、中高年齢者、外国人、障害者など多様な人材の確保に向けた取組を推進します。

## ○中小企業採用力強化支援事業費(新規) 30,723千円

- ・企業ブランディングセミナー等の開催、専門家による伴走型支援や県外の就職・転職フェア出展等の各種採用活動への支援を実施

## ○中小企業奨学金返還支援事業費 28,150千円

- ・従業員の奨学金返還を支援する中小企業等に対し、奨学金返還のための手当又は代理返還した額の一部を補助

補助率	企業が支援した金額の1/2以内
補助額	①上限20万円/年・人 (支援開始から最大3年間)
①、②から企業が選択	②上限10万円/年・人(新規) (支援開始から最大6年間)



## ○若年者雇用促進対策費 38,499千円

- ・「あいち若者職業支援センター(ヤング・ジョブ・あいち)」の運営
- ・大学との間で締結した協定に基づく就職支援

## ○中高年齢者雇用促進対策費 4,373千円

- ・企業向けセミナー及び合同企業説明会の開催
- ・中高年齢者向け再就職支援セミナーの開催
- ・「あいちミドルシニア活躍サポートサイト」による情報発信

## ○外国人材確保支援事業費 91,279千円

- ・「あいち外国人材受入サポートセンター」の運営
- ・海外の人材を対象にオンライン合同企業説明会等の開催
- ・フィリピン共和国との人材交流の実施(新規)

## ○障害者就労支援事業費 31,620千円

- ・「あいち障害者雇用総合サポートデスク」の運営

## ○中小企業応援障害者雇用奨励金 40,650千円

- ・過去3年間に障害者の雇用実績がない中小企業等を対象に、1事業主あたり最大60万円を支給

# 愛知から障害者スポーツを盛り上げます

予算額 17,637千円

スポーツ局競技・施設課  
障害者スポーツグループ  
内線 3398・2287  
(ダイヤル)052-954-7472

愛知から障害者スポーツを盛り上げ、スポーツを活かした共生社会をリードしていくため、交流促進や人材育成等の取組を進めるとともに、アジアパラ競技大会の開催機運醸成を図ります。

## 【土台づくり】

- あいち障害者スポーツ連絡協議会の開催  
県、パラアスリート、スポーツ団体、経済団体、医療関係者等による連携体制を構築

## 【普及啓発】

- ポータルサイト「aispo!Do!」の運営  
スポーツ大会やイベントの情報、スポーツ施設のバリアフリー情報などを広く発信・共有

## 【交流促進】

- 地域で障害者も参加できるスポーツプログラムの実施  
総合型地域スポーツクラブを活用して健常者と障害者の交流を促進
- 体験・交流イベント「あいちパラスポPARK」の開催  
障害者スポーツの普及や障害への理解促進を目的として誰もがスポーツを通じて交流を深められるイベントを開催

## 【機会創出】

- 地域や医療機関でのスポーツ体験機会の創出  
ボッチャやフライングディスク等の競技用具を特別支援学校やリハビリ施設等へ貸出

## 【人材育成】

- スポーツ指導者への障害者スポーツ勉強会・体験会の実施  
地域における障害者スポーツ推進のキーパーソンを育成
- 若手指導者の確保  
障害者スポーツ指導員の資格を取得予定の学生等を対象に事例発表会や指導体験会等を実施
- 指導者のリ・スタート支援  
活動を再開しようとする障害者スポーツ指導員等を対象に学びなおしの場としてセミナー等を実施

# アジア・アジアパラ競技大会を開催します

アジア・アジアパラ競技大会推進局企画調整課  
企画グループ  
内線 4582・5476  
(ダイヤル)052-954-6729

予算額 145,504,538千円

2026年9月から10月にかけて、「第20回アジア競技大会」及び「第5回アジアパラ競技大会」を開催します。

○愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会  
負担金 111,783,613千円

運営計画に基づく大会の各分野(競技、宿泊、輸送等)に係る業務、競技会場仮設整備、メインメディアセンター仮設整備、SNSによる大会情報の発信、大会100日前イベント等を実施

○国際スポーツ推進事業費 33,077,751千円

各種計画に基づき、開催都市として、聖火リレー、観客輸送、競技会場と最寄り駅等を結ぶ区間の警備、県内主要駅において大会期間中の集中PR等を実施

○推進事務費 526,210千円

大会を活用した地域の活性化の推進等

○アジア・フレンドシップ推進事業費

116,964千円

大会を契機としたアジア各国・地域との交流推進を図る取組への支援

【関連事業(2025年度2月補正予算)】

○国際スポーツ推進事業費 757,386千円

競技会場外で観戦等を楽しめるライブサイトの設置等

○児童生徒招待事業費 62,783千円

県内の国公立・私立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の児童・生徒を招待し、大会を観戦する機会を提供

○ファミリー招待事業費 23,791千円

県内の親子等を招待し、大会を観戦する機会を提供

